

# レーザー回折・散乱法による 粒子径分布測定

粒子径分布測定は原料粉体の受入評価、スラリーやサスペンションの分散状態の評価などに広く用いられている。これらの評価は、精度の高さや簡便さから機器分析により行われることが多い。これらには幾つかの原理に基づく方法があり、主に対象とするサイズレンジと対象試料粉体の状態により選択され使用されている。特に、レーザー回折・散乱法は最も普及している粒子径分布測定機器である。一方で、広く普及したため、その測定原理等を知らずに測定している例が散見される。本研修では、レーザー回折・散乱法に関する基礎と陥りやミスなどを盛り込んだ座学と、名古屋工業大学先進セラミックス研究センターが保有するレーザー回折・散乱法を用いた実習で、種々の粒子系分布測定を体験していただき、今後の研究開発、製造管理に利用いただくことを目指します。

平成30年

# 1/22 (月) 24 (水)

## 10:00-17:00

座学2時間・実習4時間  
両日とも内容は同じです。  
どちらか選択ください。

開催場所

名古屋工業大学先進セラミックス研究センター  
多治見駅前地区（クリスタルプラザ）

講習料

50,000円

募集対象者

民間企業の研究者・技術者

募集人員

各日5名

(定員になり次第、期限前でもお申込の受付を終了させていただきます。)

申込締切日

1月10日(水) 17時 必着



粒度分布測定装置 メーカー:マイクロトラック・ベル株式会社  
型式:MT3300EX II 測定範囲:0.02~2,000 $\mu$ m  
極小容量循環器付き・有機溶媒に対応可能



国立大学法人 名古屋工業大学先進セラミックス研究センター

申込み・問い合わせ

〒507-0033 岐阜県多治見市本町3-101-1クリスタルプラザ4F TEL 0572-24-8110 FAX 0572-24-8109

E-mail [jimu@crl.nitech.ac.jp](mailto:jimu@crl.nitech.ac.jp) <http://www.crl.nitech.ac.jp/index-j.html> 【担当】石原